



豊田中学校 学校だより

豊田の里

平成30年3月20日

第23号

発行 豊田中学校

3月20日 修了式式辞

校長 倉島茂見

本日、ここに「平成二十九年度の閉幕を宣言します。」

昨日の卒業式は、ありがとうございました。総練習で杉田先生がお話ししてくれたとおり、3年生はもちろんのこと、1・2年生の協力もあって、あんなすばらしい卒業式ができました。立派な足跡を残してくれた3年生も豊田中の自慢ですが、それを支えた1・2年生も豊田中の自慢です。川原さんが答辞で言った「バトン」をしっかりと受け取り、来年度、さらにパワーアップした豊田中をみんなの手で創っていきましょう。

パワーアップのために確認をしておくことがあります。まずは、本校の学校教育目標です。「こころざしをもち、たくましく生きる生徒の育成」みなさんは今、「こころざしをもち、たくましく生きる生徒」であるのでしょうか。進級に際し、この振り返りが大切です。私の感じていることを話しますので参考にしてください。

1年生は、中学生であることが板につき、大変落ち着いた生活ができていますね。授業の集中した態度もすばらしいと思います。その学級にも仲の良さ、あたたかさを感じます。お互いに思いやりをもった行動がとれていることがそのあたたかさを醸し出しているのではないのでしょうか。また先輩授業や部活動など、先輩から学ぼうとする姿勢があることもすばらしいと思います。4月からは新入生が入学し、先輩となります。先輩として、「あなりたい」と思われるあこがれの存在となれるよう、一層努力していくことを期待しています。

2年生のすばらしいところは、何よりも欠席率が低く、毎日元気に登校できているところです。これは本校学校教育目標の中に「たくましさ」の一つの表れだと思います。そして、今年は未来授業、職業体験等を通し、内面の「こころざし」を大きく育てることができたのではないのでしょうか。立志の式で堂々と目指したい職業や生き方を語る姿には、成長を感じました。4月からはいよいよ最上級生です。その自覚ができつつあることは、生徒会の諸行事、部活動等の中で強く感じます。本年度が創立70周年を迎え、来年度は新たな一步を踏み出す年だと考えています。それにふさわしい「学校の顔」となり、今年育んだこころざしを実現させるために、確かな学力とともに、豊かな心、健康な身体をも育てていくことを期待しています。

次に、1・2年生両方に、来年度も自らの志を育み、さらに成長していくことを期待し、その糧となることを願い、最近感じたことをお話しして終わりたいと思います。

皆さんは平昌（ピョンチャン）を見ましたか？オリンピックに続き開催されたパラリンピックも3月18日（日）に閉幕しました。オリンピック・パラリンピックともに毎日のように報道され、皆さんも目を引いたことと思います。

世界規模の大会はオリンピック・パラリンピックだけではないのですが、多くの人に関心を寄せている分だけ、選手や競技について詳しい報道があり、知らないスポーツでも楽しめますし、選手のエピソードなどを知ることができるのがいいですね。それらの報道を見て、聞いて、私なりに四つの気付きがありました。

一つ目は、栄光の影にあった様々な困難とそれに立ち向かう努力です。フィギュアスケートの羽生結弦選手は、大きな怪我から見事復帰を成し遂げました。スピードスケートの小平奈緒選手は過去2度のオリンピックで勝てず、単身オランダに留学し自分を磨いてきました。どの選手も様々な困難や挫折に打ち勝って試合に臨み、だからこそ私たちの心を動かしたのでしょう。

二つ目は、よきライバルの存在です。小平選手には、韓国のイ・サンファ選手との長きにわたる戦いとその中で芽生えた友情。スノーボードの平野歩夢選手は、憧れでもあったショーン・ホワイト選手との僅差の戦い。羽生選手を越えようとする宇野昌磨選手。スピードスケートの高木菜那選手と美帆選手は姉妹でありライバルでもありました。よきライバルがいたからこそ、努力し力を伸ばしてきました。勝負が終わればお互いに歩み寄り、相手をたたえる姿も印象的でした。

三つ目は、よき仲間の存在です。カーリング女子の笑顔で一つになって戦い抜こうとする仲間意識。スピードスケート女子パシュートのワンラインの見事な滑り。結果を出すために、どのくらい一緒に練習し、お互いを理解し合ったのか。きっと私たちの想像以上でしょう。

四つ目は、選手を支え、協力し、時に見守る人たちの存在です。いったいどのくらいの人たちが選手を、その競技を支えているのでしょうか。監督やコーチ、トレーナー、栄養士、スポーツ用品メーカー、スケジュールや移動の手配をするスタッフなど、私たちが気付かないところで多くの人が動いていたのです。選手たちが競技後のコメントで、必ず感謝の言葉を述べていたことが印象的でした。

パラリンピックでも日本選手は、金3、銀4、銅3の活躍をしました。身体にハンディをもった選手がどうやってここまでできたのか想像すると、オリンピック以上に知りたい、学びたいと私は思います。

さて、今あげた「努力、ライバル、仲間、感謝」は、オリンピックやスポーツに限らず、いろいろな場面で生かすことができるキーワードではないでしょうか。本校生徒向けに言い直すなら、「志」につながる視点です。

平成29年度から30年度へと替わるこのときを、自分自身を成長させる機会、「志」を大きく育む機会とすることを願っています

卒業を祝う会を行いました

3月14日（水）に3年生の卒業を祝う会を行いました。1、2年生の生徒会本部がこの日のために準備し、多彩な企画が行われました。3年生へのアンケートによる2択クイズ、3年学級担任によるメッセージ、思い出の場面を写真で振り返るスライドショー、お世話になった先生からのメッセージビデオ（佐藤瞳先生はサプライズの本人登場）、花束贈呈といった内容でした。楽しく、さわやかな雰囲気の中で会が進み、最後は1、2年生の全員で「あなたに会えて…」を歌い、3年生からは「旅立ちの日に…」の合唱が返されました。1、2年生も昼休みにずいぶん練習を重ねてきたのですが、さすがは3年生、圧巻の合唱に、1、2年生は目標とする姿を胸に焼き付けることができました。



表彰がありました 3月14日(水)朝礼

- ・磐周凶工・美術作品展 特選
小永井心、大貫麗、牧野千瑛里、安間帆乃香、渥美颯優、武山麗名、堀内ひなの、平野大直、市川颯希、鈴木彩加、安間朱音、青島拓海
- ・静岡県児童・生徒紙上美術展 県入選 多田彩人
- ・静岡県読書感想文コンクール県教育研究会長賞 榎田朋伽
- ・磐周地区中学校1年生卓球大会 第5位 松野未来
- ・静岡県ソフトテニスランキング中学女子第2位 加藤里菜、酒井菜穂
- ・都道府県対抗中学生ソフトテニス大会 団体戦 優勝 酒井菜穂
- ・磐周地区中学1年生ソフトテニス大会 個人戦 第2位 村松夏希・渡辺日奈ペア
- ・磐周地区中学1年生ソフトテニス大会 個人戦 第5位 芥川優・鈴木希実ペア
- ・磐周地区1年生ソフトテニス大会 団体戦 第2位
- ・静岡県中学校1年女子選抜ソフトテニス大会 団体戦 準優勝
- ・掛川杯ソフトテニス大会 団体戦 第3位
- ・遠州レディースソフトテニス大会 団体戦 第2位



志花壇 見事に咲きました